

【一時監査役職務代行者選任申立書のサンプル】



一時監査役職務代行者選任申立事件

令和〇年〇月〇日

大阪地方裁判所第4民事部 御中

申立人代理人弁護士 ○ ○ ○ ○ 印

〒〇〇〇-〇〇〇〇 大阪市〇〇区〇〇町〇〇番地〇〇号

申 立 人 ○ ○ ○ ○

(送達場所) 〒〇〇〇-〇〇〇〇 大阪市北区西天満〇丁目〇番〇号

上記代理人弁護士 ○ ○ ○ ○

TEL 06-〇〇〇〇-〇〇〇〇

FAX 06-〇〇〇〇-〇〇〇〇

申 立 て の 趣 旨

〇〇工業株式会社の一時監査役（社外監査役）の職務を行うべき者の選任を求める。

申 立 て の 理 由

第1 当事者等

1 申立人は、〇〇工業株式会社（以下「当会社」という。）の代表取締役である（資料1）。

2 当会社は、最終事業年度に係る貸借対照表に資本金として計上された額が金〇〇億〇〇〇〇万〇〇〇〇円、株主総数は約3000名で、当会社の株式を譲渡又は取得するについて、当会社の承認を要する旨の定款の定めを設けていないため、会社法上の大会社であり（会社法2条6号イ）、かつ、公開会社（同条5号）である（資料1）。

したがって、当会社は、会社法328条1項及び同335条3項により、監査役会を設置し、かつ、監査役を3名以上とし、さらにその過半数は社外監査役でなければならない（資料2）。

なお、当会社の従前の監査役は3名であり、内2名が社外監査役であった。また、補欠として選任された監査役はいない。

第2 監査役（社外監査役）の欠員

今般、監査役（社外監査役）〇〇〇〇が急死し、監査役（社外監査役）に欠員を生じることとなった（資料5）。

第3 仮監査役選任の必要性

1 当会社の事業年度は、毎年〇月〇日から翌年〇月〇日であり、定時株主総会は、各

事業年度の末日の翌日から3か月以内に開催されるべきものとされており、次回の定時株主総会は令和〇年〇月〇日である（資料9）。

- 2 当社は、監査役（社外監査役）の死亡を受けて、前記定時総会までに、新たな監査役（社外監査役）を選任すべきところ、多数の株主を擁し、かつ、多額の費用を要するため、臨時株主総会を開催することは極めて困難である。

#### 第4 まとめ

したがって、申立人は、会社法346条2項に基づき、当社の一時監査役（社外監査役）の職務を行うべき者の選任を申し立てる。

なお、当社は、一時監査役（社外監査役）の職務を行うべき者として、下記のことを推薦する。

下記の者が一時監査役（社外監査役）の職務を行うべき者に選任されることについては、当社の監査役はいずれも同意しており、かつ同人は、次期定時総会において監査役（社外監査役）に選任される見込みのある者である（資料6ないし資料9）。

#### 記

##### 候補者

- 1 住 所 〇〇市〇〇町〇〇番地〇〇号
- 2 氏 名 〇 〇 〇 〇
- 3 生年月日 昭和〇〇年〇〇月〇〇日
- 4 職 業 税理士
- 5 経 歴 別紙のとおり

##### 添付資料

- 1 当社の履歴事項全部証明書
- 2 当社の定款写し
- 3 当社の最終事業年度の貸借対照表
- 4 株主名簿
- 5 死亡監査役（社外監査役）の戸籍全部事項証明書
- 6 候補者に関する各監査役の意見書
- 7 候補者の就任承諾書
- 8 候補者の経歴書
- 9 次期定時総会における候補者選任見込みに関する報告書（申立人（当会社代表取締役）作成）
- 10 監査役報酬に関する報告書（申立人（当会社代表取締役）作成）

##### 添付書類

- 1 委任状
- 2 申立書及び添付資料写し